



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

# The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

### 主題 (2015-2016)

- 国際会長(IP) Mr. Wichian BOONMAPAJORN (Thailand)  
"Mission with Faith" 「信念あるミッション(使命・目的)」
- アジア会長(AP) Mr. Edward ONG (Singapore)  
"Through love Serve" 「愛を持って奉仕しよう」
- 西日本区理事(RD) 遠藤 通寛(大阪泉北)  
「あなたならできる! きっとできる」 "You can do it! Yes, you can!"  
副題:-生きる しなやかに さわやかに- Live flexibly and refreshingly-
- 六甲部部長(DG) 進藤啓介(神戸クラブ)  
「『YMCAと共に』 「人を育て・地域に仕える」
- 西宮クラブ会長(CP) 浅野 純一  
「幸せな気持ちになれるクラブの活動」

★ 2016年2月 西日本区強調ポイント "TOF、CS、FF"  
「あなたの奉仕で世界は変わる」  
川上孝司 地域奉仕・環境事業主任(京都パレスクラブ)

2016年2月第814号  
《69期7号》  
Since 5.17.1948

スポンサークラブ  
・大阪クラブ  
DBC 締結(2007)  
・近江八幡クラブ  
・広島クラブ

クラブ主役員  
会長 浅野 純一  
副会長 西山 茂夫  
直前会長 山口 吉郎  
書記 廣瀬 一雄  
書記 山口 吉郎  
会計 足立 康幸  
会計 岩田 健司  
監事 丸山 悦治  
担当主事 宗行 孝之介  
部Yサユース主査山口吉郎

**我らのモットー:**強い義務感を持つと、義務はすべての権利に伴う  
To acknowledge the duty that accompanies every right !

### 今月の聖句

「私たちの仲間も、実際に必要な物を賄うために、良い行いに励むことを学ばねばなりません」  
(テスへの手紙 3章 14節) 宗行 孝之介ワイス選

### 2016年2月第一例会ご案内

日時 2月12日(金) 19時~21時  
会場:西宮YMCA保育園3階  
ドライバー:藤原ワイス、三島ワイス

1. 開会点鐘 浅野会長
2. ワイスソング 一同
3. ゲスト・ビジター紹介 浅野会長
4. 聖句朗読・食前感謝
5. 会食
6. 卓話  
「難民問題の現状と課題」  
講師 中尾秀一氏 (難民事業本部  
関西支部長代行、神戸YMCA 監事、国際委員長)
7. お誕生日のお祝い
8. ワイスニュース 浅野会長
9. YMCAニュース 宗行主事
10. 閉会点鐘 浅野会長

### 【1月例出席状況】

第1例会(1/8 金)	第2例会(1/22 金)
メン 20名(内 MUO名)	メン 15名
メネット・コメント 5名	メネット・コメント 1名
ゲスト・ビジター 1名	ゲスト・ビジター 0名
合計 26名	合計 16名
出席率 87.0%	
在籍数 23名	(累計出席率 92.9%)

【お誕生日】 小野勅紘メン(2/3)、宗行孝之助メン(2/3)  
阪根紀子メネット(2/12)、山本常雄メン(2/21)  
西山安子メネット(2/23)、長井多美子メネット(2/25)

### 【ファンド・BF累計】1月

ニコニコファンド ¥未確認 累計 ¥20000  
Brotherhood Fund (目標 345\$) ¥未確認 累計 ¥15300  
東日本大震災 Fund (目標 ¥27600) ¥0 累計 ¥10200  
BF使用済み切手 (前期 ㊦) 今期 ㊦

## 【会長メッセージ】

浅野会長

1月のメッセージでも書きましたが、昨秋紅葉見物に京都・宇治の平等院を訪れました。

ところで、仏教の教えでは、1052(永承7)年に末法(まっぽう)の時代に入るとされていました。仏教の終末観では、釈迦入滅(前949年とする、実際は前5世紀後半?)後、千年の正法(しょうぼう)、千年の像法(ぞうぼう)の時代を経て末法の時代となるのです。末法の世では仏の教えのみがむなしに残り救われることはありません。平安末期に近づいた11世紀半ば、世間では飢饉や疫病が広がり、人々は末法の世に入ることを恐れました。この時代の平均寿命は30才程度で、人々の最大の関心事は来世での平安です。西方(さいほう)浄土にいらっしゃる阿弥陀仏に、「南無(なむ)(命をお預けします)阿弥陀仏(あみだぶつ)」と唱えて、救いに預かろうとしました。阿弥陀仏にすぎたのは庶民だけではなく権力者も同様でした。藤原道長(966~1027)は極楽浄土を想念して法(ほう)成寺(じょうじ)を、子の頼通(よりみち)(992~1074)は平等院を建てました。京都東山の地にあった法成寺は今では姿を消していますが、平等院は、その多くの建築物や仏像が今日に伝えられ、多くの国宝を有しています。中でも幾多の阿弥陀仏像が納められた鳳凰堂(阿弥陀堂)は10円硬貨にも描かれた美しいお堂で、世界遺産にも登録されています。

この時代、お寺の外では、芥川龍之介の小説『羅生門』(説話集『今昔物語集』を基に書かれた)に描かれたような悲惨な生活が広く見られました。それだけに平等院は、今日でいえばディズニーランドかUSJのような特別な夢の世界なのではと思います。但し、今日とは異なり、貴族など一部の人々のみが極楽浄土を思わせるお寺で心が癒されたのです。

平等院からの帰り道、駅に向かう道には、カフェやお土産物屋さんが立ち並び、また宇治川の風景はお寺の中と殆ど変わらない美しさでした。人々があこがれた極楽浄土は、食べ物が豊富で美しい景色が見られる所です。今年2016年は末法964年に当たるのですが、現代では、平等院の中だけではなく広く街中にも極楽浄土が見ることができるのです。もし、私が末法元年頃に生きていれば、必死に食べ物や心の平安を求めて生きたと思います。現代に生きる私は、心の平安は別として、有難いことに食べ物やアミューズメントを比較的簡単に手に入れることができ、もう当時の人の2倍以上も生きています。現代に生きるとは、未来はどうなるのだろうかと大げさかもしれませんが、そのように考えた京都への一日旅行でした。

## 【ワイズニュース】

浅野会長

### (1) Y・Yフォーラム

2月6日(土) 午後1~5時

栄光教会 6時より懇親会 兵庫県民会館

### (2) さんだクラブバレンタインコンサート

2月11日(木・祝日) 午後2時

三田フラワータウン市民ホール

### (3) 会長・次期会長と総主事との懇談会

2月22日(月) 午後6時30分

新神戸オリエンタルアベニュー

### (4) チャリティ・ジャズ・ライブ

3月19日(土) 午後6時30分 賀川記念館

### (5) 六甲山YMCAに集まろう

中西部Yサ・ユース事業 協賛:六甲部、阪和部  
Yサ・ユース

4月16日(土) 午前10時~午後8時の都合の良い時間に動きやすい服装で集まろう

## 【第一例会報告】

ドライバー丸山ワイズ、馬場(貴)ワイズ

2016年最初の例会は、1月8日(土)の19時から、西宮YMCA 保育園3Fで行われました。

開会点鐘、ワイズソング、今月の聖句に続きまして、進藤啓介六甲部長のご紹介があり、この例会で行われる河野彰氏の入会式について、西宮ワイズの入会式が実に3年ぶりであること、六甲部として大変喜ばしいと、お祝いのお言葉をいただきました。会食の時間が持たれた後、河野彰氏の入会式が和やかに行われました。

今月もメンバーに寄るスピーチということで、馬場(貴)メンからパナソニックから転籍後の新会社(株)ソシオネクストの紹介と、テレビ向けLSI、テレビ開発業界の実情についてPPTを使った卓話がありました。

最後にお誕生日のお祝いと、ワイズニュース、YMCAニュースが披露され閉会となりました。

出席者は

浅野、足立、石井、岩田、小野阪根、長井、馬場(一)、馬場(貴)、濱、濱崎、廣瀬、藤原、丸山、宗行、万本、三島、山口(政)、山口(吉)、山本、宮地、河野、廣瀬メネット、岡田メネット、山口(洋)メネット、山本メネットゲストとして進藤ゲストの計27名でした。

## 【YMCA ニュース】

宗行 孝之介ワイズ



新しい年を迎えました。本年もよろしくお願いたします。さて、年末のスキープログラムは雪不足とバス価格の高騰等悪条件が重なりましたが、結果として怪我・病気等もなく終了しました。感謝です。本稿を書いている時点で漸く冬将軍の到来で、冬春プログラムについてほっと一息というところです。

現在YMCAでは次年度計画および中期計画を策定してゆくプロセスにあります。人事配置も正式には3月1日に確定したのちに皆さまにお知らせいたしますが、多少の変動が見込まれています。西宮の将来も検討されておりますが何よりも神戸YMCA全体の事業強化、これに尽きます。人の問題、お金の問題、プログラムの問題、これらを三位一体で解決してゆかねばなりません。さらには現在のきな臭い社会情勢、さらには改憲の動き、内外の世情不安、そして格差社会の拡大。どちらを向いても良い話題がないようですが、「地の塩」としてのYMCAの働きが求められている時代でもあります。幸い私たちには財団法人、学校法人、社会福祉法人の三つの器が備えられています。ますます連携して働きを強めてゆきたいと思っています。どうぞ倍旧のご支援・ご協力をお願いいたします。

## 【リーダー会便り】

3 回生 宮脇 知紘リーダー

キッズは摩耶山中腹の虹の駅、摩耶史跡公園まで登山しました。ネイチャービンゴをしながら登ったり、虹の駅の広場で鬼ごっこをしたり、グループそれぞれの活動を楽しみました。来月も登山なので協力しながら登る姿が見られることを期待しています。

ジュニアは摩耶山に登りました。「団結」というねらいを意識しながら登山しました。険しい登山道が多々ありましたが、グループの仲間と声をかけ合いながら一生懸命登山する子ども達の姿がたくさん見受けられました。

シニアは、阪急芦屋川駅から風吹岩を經由して保久良神社まで歩きました。岩場や歩きにくい所が沢山あり、大変な道のりであったからこそ、協力し合うことや友達を思いやることの大切さを改めて感じることができたのではないかと思います。今回は、今回の子供達の気付きや成長をより確かなものにできるような活動にしていきたいと思います。

## 【DBC3クラブ効果ブリテン】

「近江八幡クラブに復帰しました」

近江八幡クラブ 岡田定一

私をワイズメンズクラブに誘ってくださったのは、堀江宏さんです。同じ町内に医院を開業された堀江先生は、我が家3世代3人の家庭医さんでした。その先生から「月1回堀江宅で楽しい集まりがあるから来ませんか」とのお誘いを受けました。その集まりは、近江八幡クラブのブリテン編集委員会でした。作業が終わると堀江先生が収集されたジャズのレコードを聴いたり、議論をしたりと毎回日付が変わるまで続く楽しい集まりでした。

当時の私は30代後半、滋賀県庁に勤めながら休日に農作業をする兼業農家です。公務員の世界と農業集団の世界しか知らなかった私にとって、色々な職業の人達との話し合いは楽しく、勧められるままに1976年(昭和51年)6月近江八幡クラブに入会しました。後々「岡田さんは公務員臭がない」と言われるようになったのは、早くからクラブライフに馴染んだせいかも知れません。この頃から日本のワイズメンズクラブが興隆期を迎え、部(District)も北西部から中部と京都部に、京都部が京都部とびわこ部にとクラブ増加による分割が進みました。又、この頃は台湾の高雄クラブ、韓国の慶州クラブとの相互訪問も活発でした。

京都部の研修会で故山田真さんがワイズの輪でびわ湖をとり巻こうとびわ湖ネックレス構想を発表されました。1998年(平成10年)滋賀県庁退職を機に大津に新クラブを設立したいと動き出しましたが、1999年私が加茂町の自治会長と学区の連合自治会の副会長を務めることになったため、予定より1年遅れて2000年12月3日に大津クラブのチャーターナイトを迎えることができました。

5年経ったら近江八幡へ復帰するとして設立した大津クラブでしたが、メンバーの転勤や病気退会などで大津クラブを抜けられず、今回大津クラブを解散したことにより、ようやく近江八幡クラブに復帰することになりました。

## 【西日本区だよりー18】

EMC事業主任 小野 勲紘



### 1. 今期の活動も後半に突入！

今期の活動も後半に入り、纏めの時期に入りました。まもなく各種表彰関係の作業に入ると1年の内で部会シーズンに次いで多忙な時期を迎えます。その時期に入るとすっかり活動は収束に向かい、今までのようなこちらから働きかけるような活動はすっかり陰を秘そめて、嫌がおうでも受け身にならざるを

得ないでしょう。正直なところ能動的な活動は3月一杯で終了して、今期の纏めをして、次期に備えることになるのは、次期会長・主査研修会を迎える頃からでしょう。

多忙な中にもあつという間のシーズンでした。多くの経験者が言われているように、「さあこれから、という時にはもう終盤を迎えてしまい、やりたいことは殆ど出来なかった」というのは正直なところでしょう。そうならないように残されたこの時期、死にもの狂いの活動になるでしょう。

## 2. これからの主な行事

残るイベントは2月6日(土)でトリを飾る、「京都部EMCシンポジウム」の準備を終えたところです。大所帯の京都部は、よっぽど心して当らないと、強い風当たりへの覚悟は必至でしょう。

3月末～4月にかけて表彰作業をこなした後は、第3回役員会。審議を本格的に出来るのはここ迄で、6月の第4回役員会では、定型議題をこなすだけで精一杯。いよいよ西日本区大会に突入する。それまでは健康に留意することが一番でしょうか。

## 3. 入会式が目白押し

11月まで順調に推移してきた西日本区の会員増員は12月にきて、ミニドロップラッシュ。愕然とすることしきり。その中で、年が明けてからは順調に増員があり幸いなことに多くの入会式に招かれました。まず、我が西宮クラブでは3年ぶりとなる入会式で1月8日の第一例会で河野彰さんをお迎えしました。末永くよろしく願いいたします。続いて1月9日には和歌山紀の川クラブに向井貞隆さんを、1月14日には大阪西クラブに、石野鳥雲さん、越智有一さんのお二人を、1月21日には神戸学園都市クラブに檜木善隆さんと続々お迎えしました。

2月には8日に奈良クラブに市本貴志さん、10日には宝塚クラブに重松えみりさん、23日には福山クラブに男女お二人、3月には和歌山紀の川クラブに2人目と続々お迎えするなど、朗報が届いています。私はお招きがあればいずれの地でも万難を排して駆けつける覚悟でいます。望むらくは今のところ、静かな瀬戸山陰部、中部、びわこ部に何とかニューフェイスをお迎えしたいものです。このまま順調に推移して、何とか“魔の期末集中ドロップ”を回避したいものです。そんな中で入会式に陪席した大阪西クラブのブリテンの中に、素晴らしい記事を見つけましたので、ご披露しておきます。新入会の方にEMC事業主任から歓迎の言葉をお伝えしたいような素晴らしさを見事に語っておられるのが、大阪西クラブ現会長の清水誠治郎ワイズのメネットの清水京子さんの記事ですので以下にご紹介いたします。

## 【他クラブのブリテンより】

大阪西クラブ メネット会長 清水京子さん

ようこそ 大阪西クラブへ

初めてワイズメンズクラブの例会に出席したのは、19歳の時。全く訳が分からず、自分の物と感ずることはありませんでした。10年以上経って子どもが少し大きくなってから、少しずつ参加してみることが増えました。手芸の集まり等、当時はそれぞれのクラブで、メネット(奥様)達の集まりがありました。その時でも、自分と関係ないけど、まあお誘いいただいたから行ってみようかな、ぐらい。

西日本区大会に行っても、自分のクラブ以外には知っている人なんて全然なくて、本当につまらなかったです。ところが、テーブルで一緒になった方達に次の年に会うわけです。やあ、元気にしていた？と声を掛けてもらう。嬉しくなって、その人のいる部会に行く。そうするとまた知り合いが増える。そんな風にワイズの友人が拡がっていきました。とにかく、他のクラブ、他の部、他の国を見てみることで。自分のクラブ例会に出席しているだけでは、本当の楽しさは判りません。いろんなところに出掛けてみて下さい。

職業のジャンルを超えて、本当に色々な方がいらっしゃいます。仕事の付き合いだけではないので、上下関係も無し。そして誰とでも握手出来るようになる。普通女の人と握手する機会ってあまりないですよ。また私は西日本区の大事な仕事をさせていただいた時に、パソコンの能力と友人の数が飛躍的に伸びました。

仕事をしながらだったので、それはそれはものすごく大変でしたけど。でもね、振り返ればそれも楽しい思い出になっています。普通に暮らしては、見られなかった世界が広がっている事を新入会の皆様、どうぞ自分の目で実感して下さいね。

